令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立佃小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	西淀川区
学　校　名	大阪市立佃小学校
学 校 長 名	前澤　哲

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立佃小学校では、第６学年　17名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立佃小学校の結果概要

本校の平均正答率（国語75％・算数61％）を全国平均（国語60.9％・算数56.4％）及び大阪市平均（国語59％・算数56％）と比較すると、国語+15％・算数+５％の結果となった。これは、大阪市が進めている総合的読解力育成プログラムにおいて、大事なところを考えながら資料や文章を読むことに重点を置いて指導してきたことや、日頃から、話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりすることができるように指導の工夫をし、児童の思考力・判断力・表現力の育成を目指してきたことの成果であると考えられる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

学習指導の内容の全ての項目において、大阪市・全国平均を上回っている。特に顕著なのは、問題１二(1)「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」（本校正答率82.4％・大阪府57.0％・全国60.2％）、問題２一「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる」（本校正答率94.1％・大阪府57.5％・全国 57.9％）、問題２二「考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる」（本校正答率82.4％・大阪府47.5％・全国 48.9％）である。これらは、本校が取り組んでいる「話し合う活動を通じて、思考力・判断力・表現力を育成する」指導の成果と考えられる。

【算数】

学習指導の内容の一つの項目【A 数と計算】は大阪市・全国平均を下回ったが、他の四つの項目は上回っている。

問題２(1)「数を四捨五入して、概数で表すことができるかどうかをみる」（本校正答率50.0％・大阪府67.3％・全国 66.5％）、問題２(4)「基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる」（本校正答率25.0％・大阪府34.1％・全国 34.2％）、問題３(4)「単位分数の個数に着目し、数直線上の１を表す目盛りを捉えることができるかどうかをみる」（本校正答率56.3％・大阪府68.3％・全国 68.1％）では、【A 数と計算】領域における理解が不十分であることが明らかになった。

一方、問題１(2)「直方体の箱の形を構成する面について理解しているかどうかをみる」【B 図形】（本校正答率93.8％・大阪府61.8％・全国63.0％）、問題２(3)「単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかをみる」【C 変化と関係】（本校正答率62.5％・大阪府35.1％・全国36.1％）、問題４(2)「示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる」【C 測定】（本校正答率87.5％・大阪府77.6％・全国 78.1％）、問題４(3)「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる」【D データの活用】（本校正答率81.3％・大阪府17.5％・全国 17.9％）では、与えられた条件や情報をもとに思考したり判断したりしながら、適切な答えを導き出す力がついていると考えられる。

質問調査より

国語及び算数の教科結果から「話し合い活動を通して、思考力や判断力が育成された」と上で述べたが、質問調査からわかる児童の認識には乖離がある。質問番号（16）（42）（43）（44）（53）からわかるように、「自分と違う意見について考えることや友達と話し合う活動を通じて、考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりできていますか。学習内容や授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりできていますか。」という質問内容に対する肯定的回答は、大阪市や全国平均よりも低い。

ところが、質問番号（46）「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」や質問番号（17）友達関係の満足度については、大阪市や全国平均と同程度である。しかし、問題番号（20）の「学級の友達と違う意見を持つこと」に関しては、否定的に捉える割合が多く、問題番号（14）（11）（8）（10）の自己に関わる質問に対しても、大阪市や全国平均と比べると低く評価する傾向にある。

友達や周りの人に対するこれらの意識や配慮の高さに比べて、自分自身に対する自信や肯定感が低いことは、本校の単学級で少人数という環境から、親や教師といった大人の目が行き届いているために、大人の基準になってしまい、学級や学年といった同年代の基準や点数からかけ離れ、自分自身を過小評価してしまう傾向にあるのだろうか。理想が高くなってしまった分だけ、自己肯定感が低下してしまっている状態である。

特に、質問番号（14）「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の肯定的回答が100%にもかかわらず、質問番号（11）「人が困っているときは、進んで助けていますか」の肯定的回答が58.9%と大阪市や全国平均（どちらも92.7%）よりもかなり低いことや質問番号（8）「自分には、よいところがあると思いますか」の肯定的回答の低さに顕著に表れている。

基本的な生活習慣については、質問番号（1）「朝食を毎日食べていますか」や質問番号（6）「学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか」の最も肯定的な回答が、大阪市や全国平均と比べると低いことがわかる。さらに、質問番号（4）SNSや動画視聴時間に関する回答も大阪市や全国平均と比べると長時間になっている等が課題である。

今後の取組（アクションプラン）

今後も、各教科の様々な場面において、「与えられた条件や情報をもとに、友達と話し合う活動を通して、思考したり判断したりしながら、適切に表現する力を身に付けられる」ようにしていく。今回課題となった「数と計算」領域については、２学期より全学年で行っている「つくだ計算検定」という取り組みを通して、数や計算に対する理解を高め、技能の向上・習熟を目指していく。また、教員一人一人のICT機器の活用力を高めていくことにより、学習や教育活動場面で、より効果的・効率的なICT活用を進め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、計画的に進めていく。

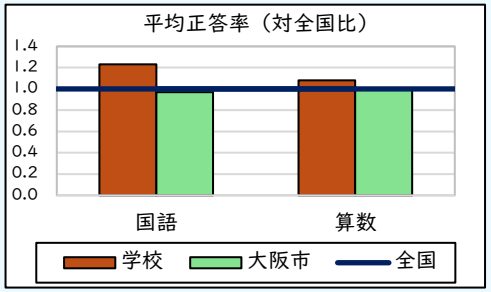
さらに、学校図書館司書や地域ボランティアによる図書館開放・読み聞かせの機会の確保・読書環境の充実等を目指す。これらを基盤に、児童が本や文章・文字に触れる機会を増やすとともに、感受性や想像力・表現力の育成を目指す取り組みを進める。

課題である一人一人の自己肯定感については、小集団の固定された関係や大人の視点ではなく、児童同士が柔軟にお互いのがんばりや良さを認め合う場面を多く作ることを通して、高めていく。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

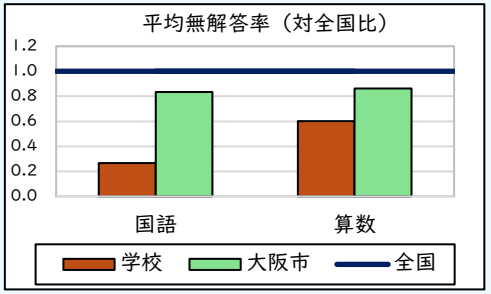
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	75	61
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



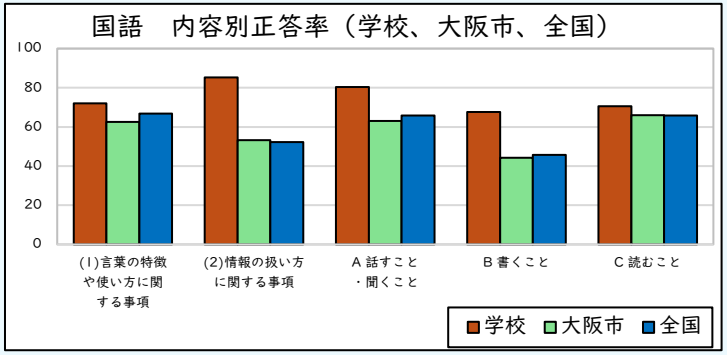
平均無解答率（%）

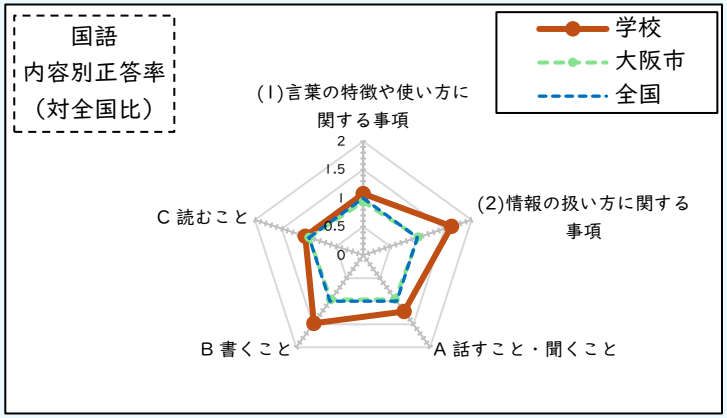
	国語	算数
学校	0.9	1.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

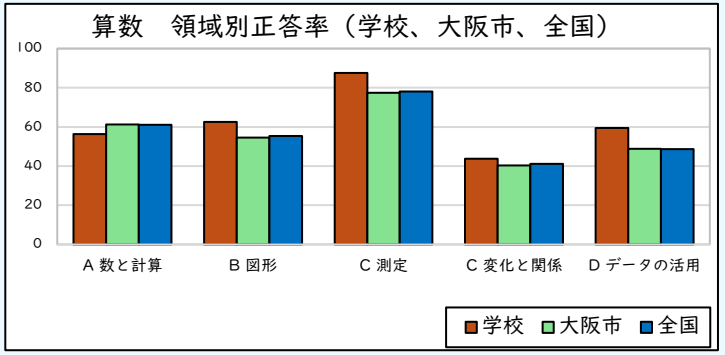
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	72.1	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	85.3	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	80.4	63.1	65.8
B 書くこと	2	67.6	44.2	45.7
C 読むこと	2	70.6	66.0	65.9

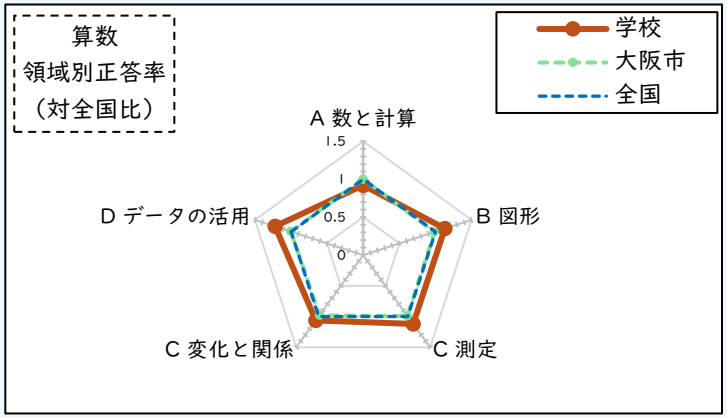




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	56.3	61.2	61.1
B 図形	4	62.5	54.5	55.3
C 測定	1	87.5	77.5	78.1
C 変化と関係	3	43.8	40.3	41.1
D データの活用	4	59.4	48.8	48.6

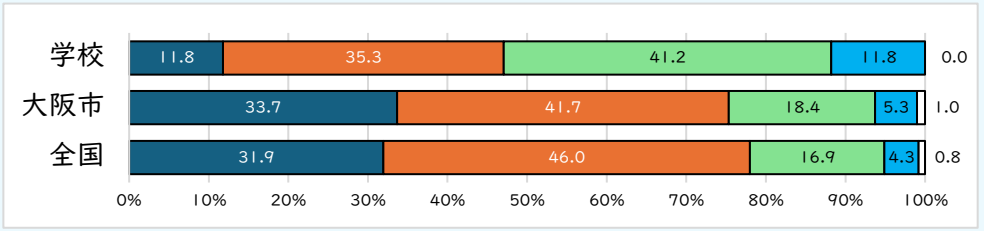




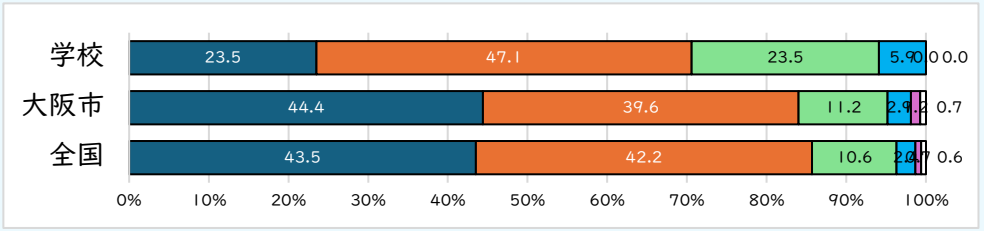
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（１）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

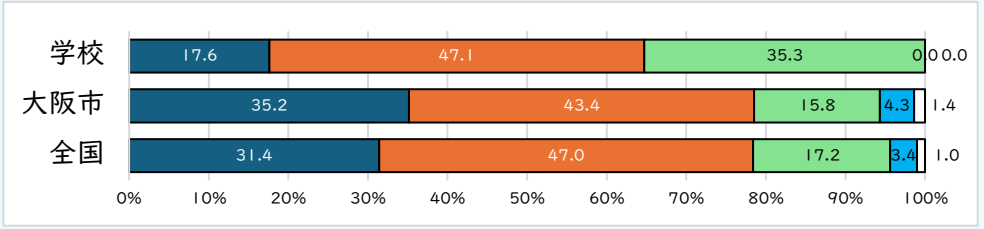
質問番号	質問事項
（１６）	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
（４２）	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
（４３）	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
（４４）	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか
（５３）	国語の勉強は好きですか



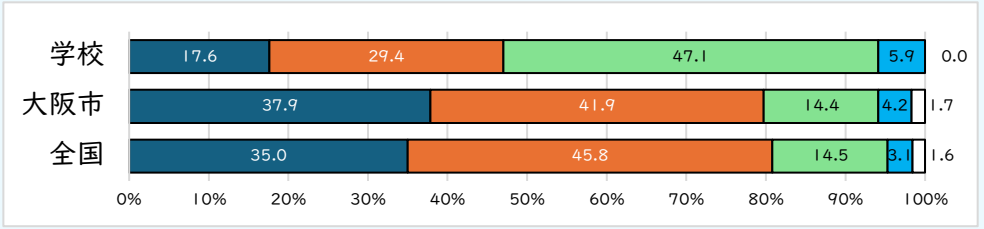
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



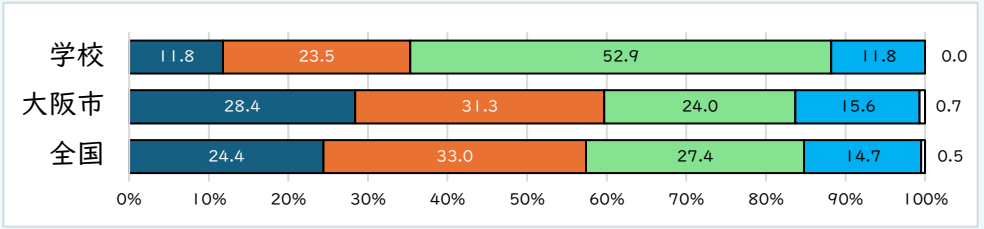
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

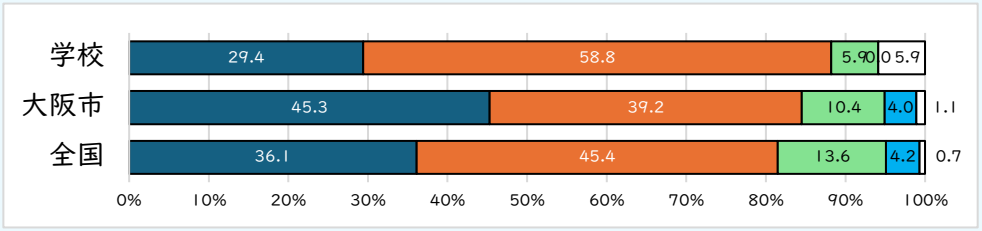


1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

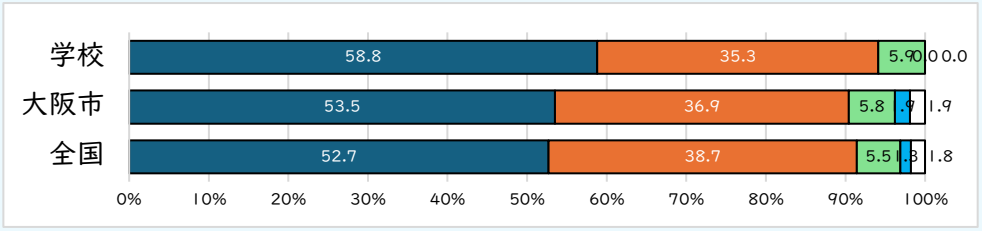
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（２）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

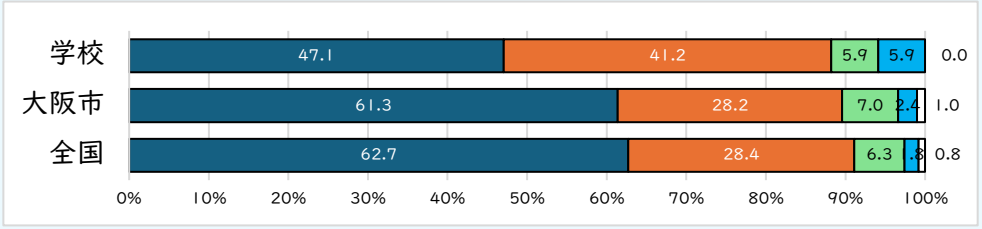
質問番号	質問事項
（５４）	国語の授業の内容はよく分かりますか
（４６）	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
（１７）	友達関係に満足していますか
（２０）	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
（１４）	人の役に立つ人間になりたいと思いますか



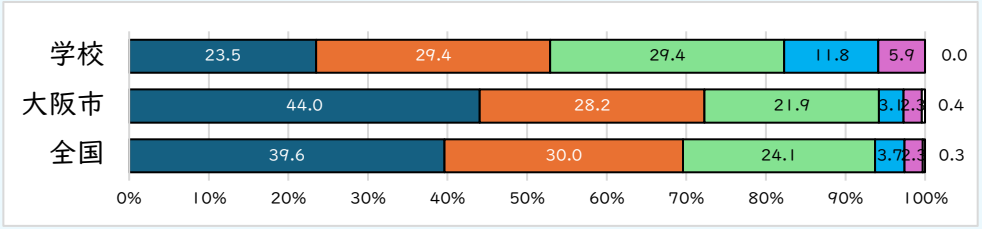
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



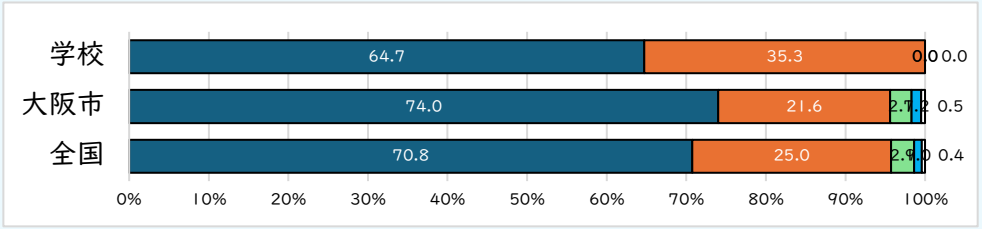
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない



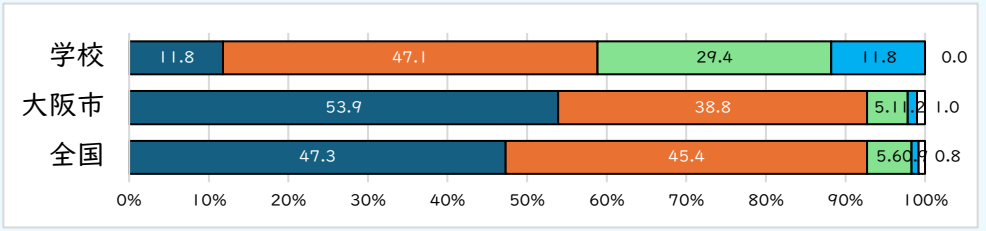
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

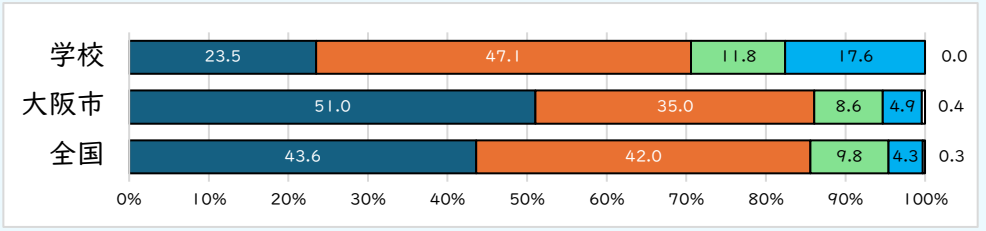
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（３）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

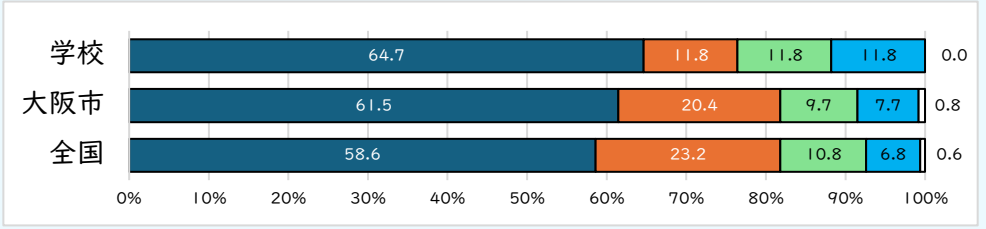
質問番号	質問事項
（11）	人が困っているときは、進んで助けていますか
（8）	自分には、よいところがあると思いますか
（10）	将来の夢や目標を持っていますか
（26）	学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
（27）	昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか



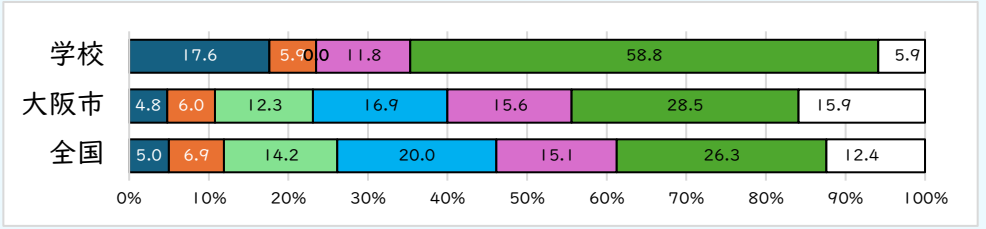
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



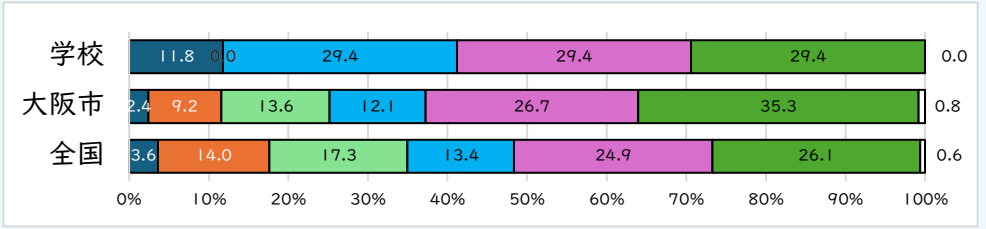
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 ２時間以上
2 １時間以上、２時間より少ない
3 ３０分以上、１時間より少ない
4 １０分以上、３０分より少ない
5 １０分より少ない
6 全くしない

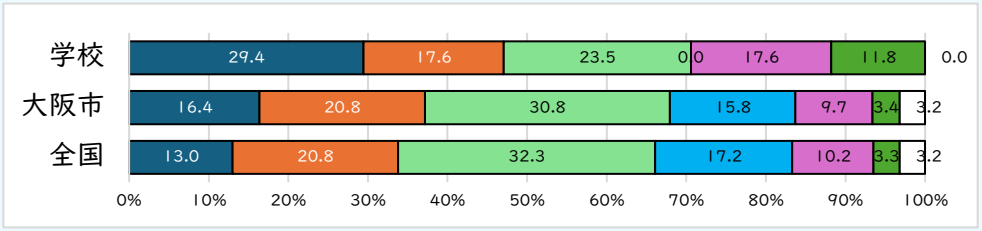


1 だいたい週に４回以上行く
2 週に１～３回程度行く
3 月に１～３回程度行く
4 年に数回程度行く
5 ほとんど行かない
6 全く行かない

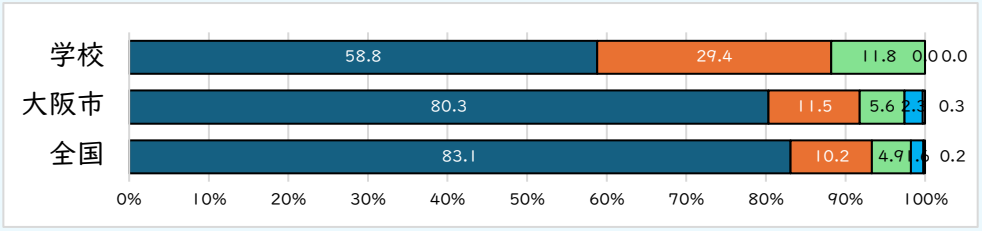
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（４）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

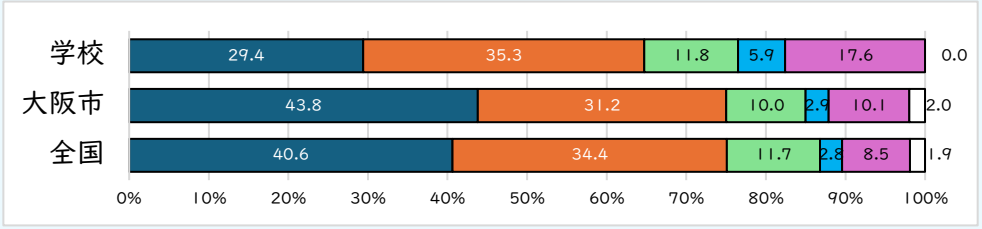
質問番号	質問事項
（２９）	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）
（１）	朝食を毎日食べていますか
（６）	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
（７）	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
（４）	普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



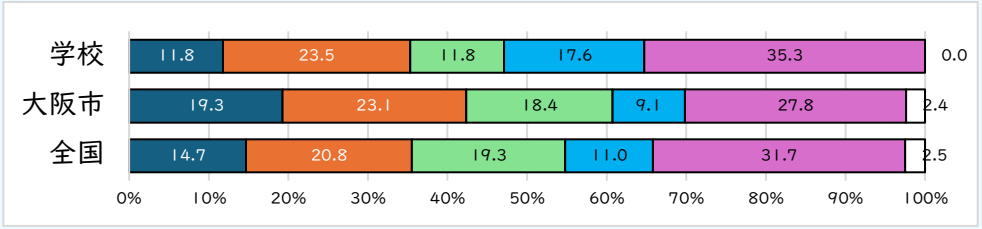
１　０～１０冊
２　１１～２５冊
３　２６～１００冊
４　１０１～２００冊
５　２０１～５００冊
６　５０１冊以上



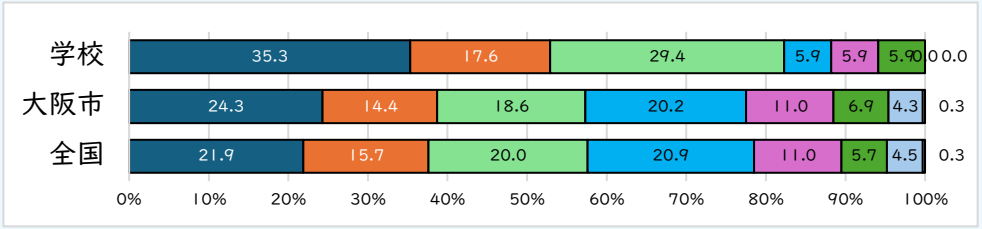
１　している
２　どちらかといえば、している
３　あまりしていない
４　全くしていない



１　ほぼ毎日
２　週に１～２回
３　月に１～２回
４　年に１～２回
５　ほとんど、または、全くない



１　ほぼ毎日
２　週に１～２回
３　月に１～２回
４　年に１～２回
５　ほとんど、または、全くない



１　４時間以上
２　３時間以上、４時間より少ない
３　２時間以上、３時間より少ない
４　１時間以上、２時間より少ない
５　３０分以上、１時間より少ない
６　３０分より少ない
７　スマートフォン等を持っていない

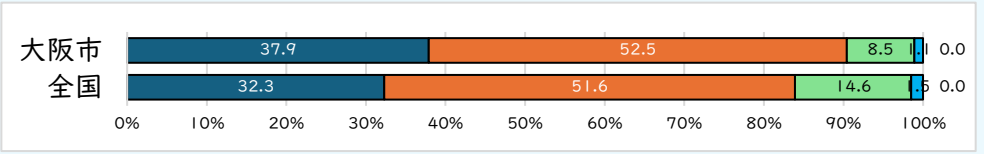
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

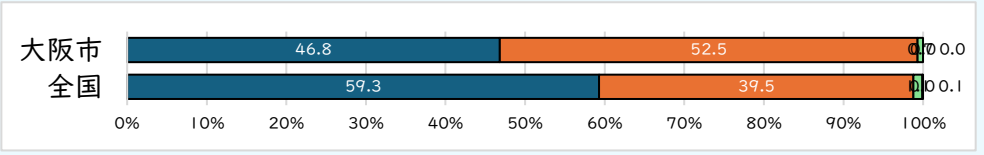
質問番号	質問事項
（８）	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか
（１１）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか
（２６）	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか
（２９）	調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか
（３８）	調査対象学年の児童に対して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか

【学校の回答】　１　そう思う



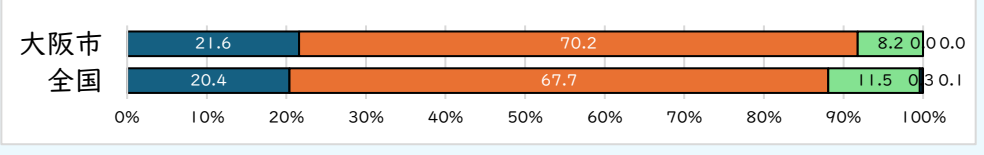
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　２　どちらかといえば、行った



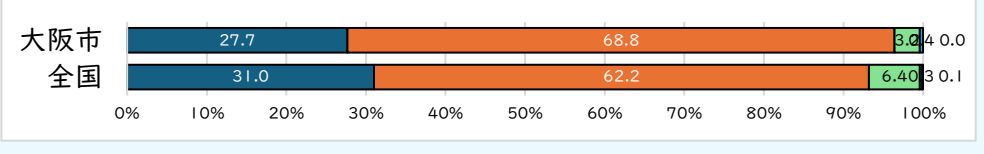
1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　２　どちらかといえば、そう思う



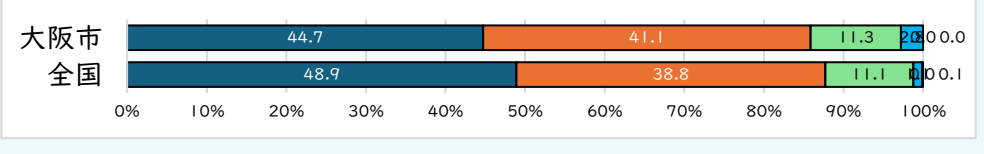
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　２　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　２　月数回程度行った



1 週１回程度、または、それ以上行った
2 月数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年数回程度行った
5 行わなかった